

# 消防学校だより

## 令和2年6月号

発行年月日 令和2年6月30日  
発行 宮崎県消防学校

### ★消防活動訓練（消防操法訓練）

消防活動訓練として消防操法を訓練しました。

操法は、「消防操法の基準」並びに「消防訓練礼式の基準」を基に、様々な要領を交え、安全を確保するとともに迅速確実に行わなければなりません。

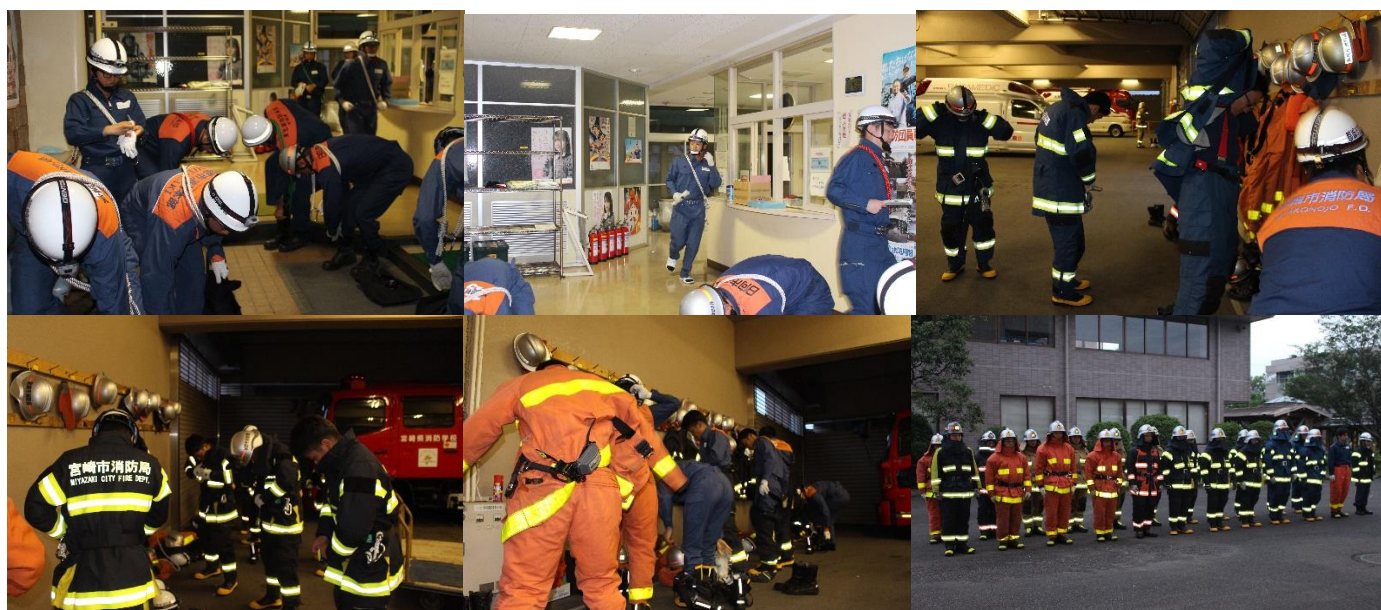
基礎的動作をしっかりと訓練しました。



### ★非常招集訓練（早朝）

初任科教育を終了すると、非番日であれ仮眠中であれ、常に出勤への心構えをし過ぎなければなりません。

災害出勤時でも、平常心を保つことは、安全管理上重要な事であるので、平時から臨戦態勢への心と体のスイッチの切り換えを行えるように今後も非常招集を行います。

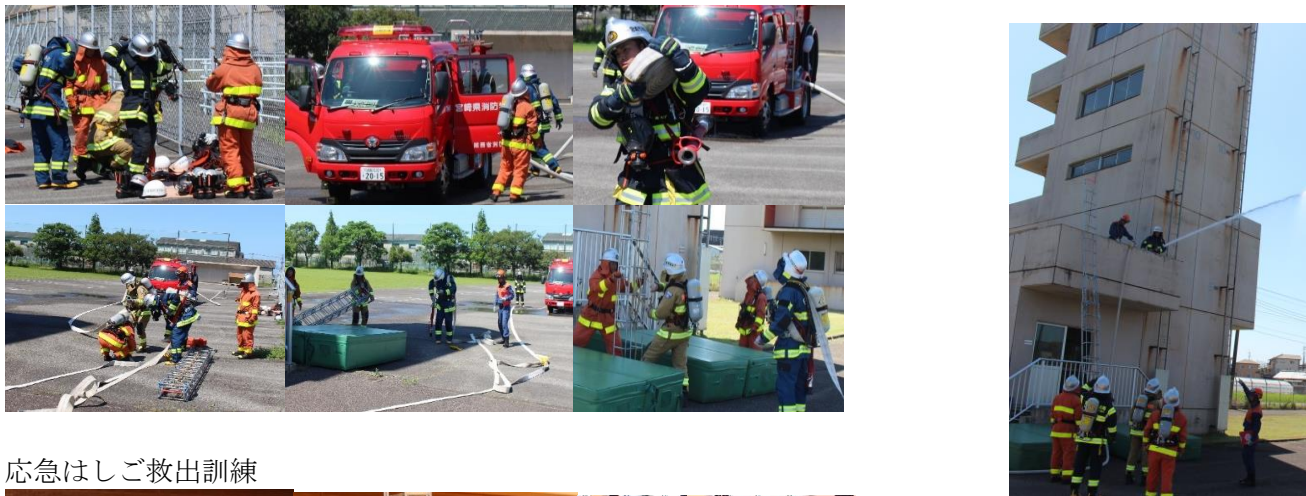


## ★消防活動訓練

ホースの延長、呼吸器装着、ロープ基本結索、三連はしご操法など、基礎訓練を繰り返し実施し、それぞれを複合した活動訓練を実施出来る様になりました。

現場活動において基本的な動きを身に付け、まずは、自分自身が安全に行動できるよう訓練を繰り返し実施していきます。

### 消防訓練



### 応急はしご救出訓練



### 検索訓練



### 休憩時間の一コマ



## ★第 31 期救助科入校

6 月 25 日(木)、第 31 期救助科生が入校しました。

県内すべての消防(局)本部が揃っての研修は久しぶりであり、各所属にこの過程で得た情報を持ち帰ってもらえればと思います。

新型コロナウイルス感染症対策のため様々な拘束はありますが、第 31 期救助科 16 名で約 1 ヶ月間を乗り越えてもらいたいと思います。



第 31 期救助科 総代 甲斐 一馬 (延岡市消防本部)

## ●海外の消防行政

6 月 29 日(月)、JICA(国際協力機構)の事業で 2 年間、コロンビア共和国消防庁へ行かれていた都城市消防局の 児玉 徹 司令から海外の消防行政について講義を受けました。

同じ消防の職種でも、世界の消防組織は千差万別で大変勉強になりました。

また、講義の中で、コロンビア共和国の消防で児玉司令と一緒に勤務をした消防士とテレビ電話で話す事が出来(スペイン語の通訳は児玉司令)、コロンビアの消防行政の様々な事を聴くことが出来ました。

コロンビアとの時差は 14 時間との事で、あちらの消防士は深夜対応となりました・・・



## ●事例発表

各所属での災害事案を発表してもらいました。

現在の災害は、多種多様化し、一度発生すると大規模化する傾向ではあるが、隊員1人あたりの出動件数は減少しており、経験を担保するためにも訓練が必要になる。

他の所属の事案を聴くことで、今後の対策としてどのような訓練を行っておくべきかななどの参考になったと思います。



## ●身体管理と怪我防止

6月30日、エスセルフフィットネスセンターの 山田 義徳 氏より身体管理と怪我防止について講義を受けました。

救助隊員は、強靱な体力、気力のもとより、あくまでも任務を遂行するという不撓不屈の精神力を持つことを求められるが、怪我をしてしまうと何にもなりません。

まずは、自らの身体能力を知り、正しいトレーニング法を身に付けることが大切です。



## 7月の主な行事

- 救助科 ～7月22日(水)まで

宮崎県消防学校

担 当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電 話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp